

令和7年度
企業版ふるさと納税の
活用状況について(ご案内)





「そうだ！おかやまで暮らそう！」プロジェクト

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:80,184千円)

事業内容

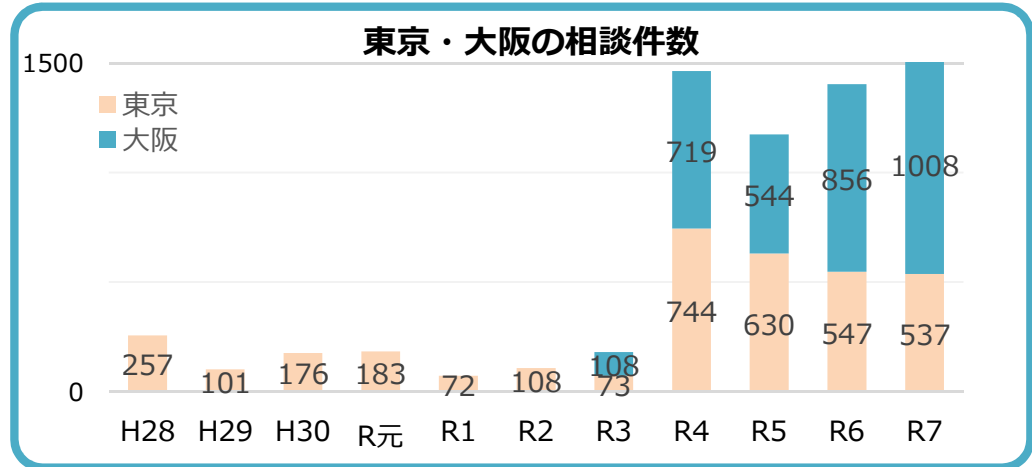
「晴れの国おかやま」に魅力を感じられた方々から年間約2,000件の移住相談があります。岡山市の魅力をたくさんの人に伝え、岡山市の良さを知っていただき、岡山市で暮らしたいと望む方々の支援をしています。



令和7年度は

- ①おかやまぐらし相談センター事業
(就職支援に力をいれた移住相談窓口/東京・大阪に設置)
 - ②岡山移住プロモーション事業(岡山市の魅力を動画やSNSで発信・専用Webサイトの運営)
 - ③移住助成事業(岡山市への移住費用の一部助成)
- に取組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【移住相談件数の増加】



令和7年度の成果

- 過去最高の相談件数を達成
- 専用Webサイト「おかやませいかつ」PV数176,000回(前年度比+2,450回)
- Instagramフォロワー数6,169人(前年度比+2,300人)

今後の取組

東京・大阪における就職・転職を伴う移住支援、及び市内企業からの求人が多い若い世代に向けた情報発信を強化し、「働く層」の移住者増を目指します。



健康ポイント事業「OKAYAMAハレ活プロジェクト」

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:66,756千円)

事業内容

スマートフォンアプリを活用し、運動・栄養(食生活)・社会参加につながる活動に参加することでポイントが付与される健康ポイント事業です。「楽しみながら手軽に始める健康づくり」を目指します。普段の生活の中で取り組める、自然と心身ともに健康になるきっかけづくりが大切だと考えています。

※参加者数
27,299人
(R8.2月末時点)



令和7年度は
①ウォーキングイベント「みんなで歩活」
②おでかけマップスタンプラリー
③イベントへのブース出展
④登録相談会
などを実施し、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【活動風景】

イベントちらし



イベントへの
ブース出展と
登録相談会

「みんなで歩活」を活用し、事業所を対象とした職場対抗戦を実施
成績上位事業所に市長表彰を行いました



今後の取組

本事業は令和7年度末で終了。令和8年度は夏ごろから2年間の計画で新たな健康ポイント事業を実施予定。



スタートアップ支援事業

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額: 125, 557千円)

事業内容

スタートアップ支援拠点「ももスタ」を軸として、起業家の輩出に繋がる力強い支援環境の構築が着実に進んでいます。最近では中高生をはじめとする起業に関心のある若い世代も「ももスタ」を活用しています。

また、令和7年6月には内閣府の第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市に「NEXTグローバル拠点都市」として選定されました。岡山・瀬戸内地域で「刺激の輪」を広げ、さらなるスタートアップの創出や成長を目指していきます！



令和7年度は

- ①スタートアップ支援拠点運営事業
- ②次世代起業家育成事業
- ③先進技術社会実証支援事業

などに取組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【活動風景】



ももスタでのイベント風景



次世代起業家育成事業



イノベーション基礎習得セミナー

効果【ももスタでのイベント数・のべ参加者数】

	R3	R4	R5	R6	R7
イベント回数	41	61	84	142	142
のべ参加者数	1,001	1,245	2,635	4,114	3,998

今後の取組

令和8年度はアトツギ支援プログラムやグローバル展開を見据えた調査を開始するほか、引き続きスタートアップの創出・成長やイノベーション創出を支援することを目的とした様々なプログラム等を企画、運営していきます。



市立認定こども園の環境整備事業

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:23,150千円)

事業内容

岡山市では、セーフティネットの役割を担う、市立幼保連携型認定こども園を中学校区（市内36区域）ごとに整備しており、施設運営の効率化を図りつつ、希望する全ての就学前の子どもに、等しく教育・保育を提供できるように、環境整備に努めています。



令和7年度は、幡多認定こども園（竜操中学校区）の整備に取り組み、これらの園で使用する室内用遊具や園児用の組立式プールの購入など就学前教育・保育の環境整備に、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【活動風景】



幡多認定こども園（R8年4月開園）

今後の取組

就学前児童数が低下傾向にある中、将来的に良質な就学前教育・保育を提供し続けるため、引き続き、市立認定こども園の環境整備に取り組んでいきます。

問い合わせ先

こども園推進課

☎086-803-1430

kodomoen@city.okayama.jp

プレーパーク普及事業

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:8,699千円)

事業内容

「外遊び」を通してこどもの心を豊かに、そして健全に育成するためには、外遊びの経験が少なかった親世代や地域住民に外遊びの楽しさを再認識してもらうことが必要です。

そして、その上で地域の中に「外遊びを通した子育て」の機運を高め、地域ぐるみでこどもの外遊びを見守ることがこどもの心の成長に大切だと考えています。

岡山市はこどもが安全で自由に外遊びができる1つの場として「プレーパーク」の普及に努めています。



令和7年度は

- ①プレーリーダーの養成
- ②プレーパークの開催
- ③プレーパークの普及

に取組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【活動風景】

市内6か所の公園等で活動しました。子どもたちの作りたい、やってみたい気持ちが形になり、最後は、個性豊かな作品を使って思いっきり楽しみました。数多くの貴重な体験になったと思います。



今後の取組

プレーリーダーを中心に外遊びの体験活動を定期開催できる団体が今以上に各区に存在するよう取り組んでいきます。

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:4,809千円)

事業内容

次代を担う人材の地域定着を目的とし、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、大学等で学んだスキルを活用した小規模ビジネスへのチャレンジ等に取り組む活動を支援しています。



令和7年度は

- ①学生の小規模ビジネスの実現に取り組む活動に対する補助金支出（26グループで、計275名の学生が参加）
- ②活動報告会の開催

に取組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果【活動風景】



今後の取組

学生が地域と交流し、協働しながら地域に貢献していくことで、まちの魅力を知り、愛着を深め、ひいては地域づくりの担い手としての成長につながるよう、様々なサポートを行っていきます。



岡山芸術交流2025

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:136,000千円)

事業内容

3年に1度、岡山城・岡山後楽園を中心とした歴史文化エリアで、世界最先端のコンセプチュアルアートを展示する国際現代美術展「岡山芸術交流」の開催を通じて、官民協働による新たな魅力づくりや岡山市の新たな都市ブランドの構築、若年層のまちづくりへの参加促進等を図ります。

令和7年度の「岡山芸術交流2025」では、11か国30組のゲストが参加し、今回に限り全ての会場で鑑賞料を無料としました。学校鑑賞支援をはじめ、パブリックプログラム、アーティストック・トランスレータープログラム等に取り組み、いただいた寄附金を活用させていただきました。



子どもナビと楽しむアートツアー
(パブリックプログラム)



大集合！青豆の公園でハガキを書こう！
(パブリックプログラム)



学校からの来場



「飛ぶ人たち」
(アーティストック・トランスレータープログラム)

効果【活動風景】

国内外からの延べ来場者数は、過去最高の424,917人を記録しました。小・中・高等学校等91校(約5,800人)の子どもたちも、校外学習や部活動等で来場し、鑑賞しました。

開催中の様子



旧内山下小学校
(校庭)



岡山市立オリエント美術館
(入口前)



城下地下広場



市役所内で作品展示



岡山県天神山文化プラザ

今後の取組

岡山芸術交流実行委員会においてパブリックプログラムを実施するほか、岡山市文化振興課においても地域浸透事業を実施することにより、広く事業の周知・理解を図り、次回開催(2028年)へ向けて機運を醸成していきます。



岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:319,526千円)

事業内容

岡山駅は、国内有数の交通結節機能を有し、公共交通ネットワークの要でもあります。岡山市では、岡山駅の交通結節機能の強化を図るとともに、回遊性の向上、都心の活性化を図ることを目的に、岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備及び乗り入れを含めた岡山駅前広場整備を進めています。



後楽園に見立てた統一デザインで整備

令和7年度は

- ①軌道敷設工事
 - ②駅前交差点改良工事
 - ③公共交通案内所及び長庇整備工事
- に取り組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果

路面電車の乗り入れを契機に、駅前広場のリニューアルとして公共交通案内所を整備し、市民や来訪者に対して公共交通の利用環境の向上を図ることができました。



駅前広場内に整備した公共交通案内所



各バス事業者の窓口を設置

バスの運行状況がリアルタイムにわかるデジタルサイネージを設置



今後の取組

路面電車乗り入れは令和8年度末、後楽園に見立てた駅前広場全体の整備は令和11年度の完成を目指して取り組んでいます。

地域公共交通利便増進事業

令和7年4月～令和8年3月(令和7年度事業決算額:115,492千円)

事業内容

路線バスは、利用者の減少や運転手不足による減便や路線廃止が続いており、利便性の高い公共交通サービスの安定的な提供に向けて、バス路線再編等に各種施策に取り組んでいます。

< 4つのポイント >

1. 需要に応じて幹線と支線に分割

重複路線の集約等により、生み出された余力で
支線を新設・延伸・増便(駅・商業施設・病院へ接続)

2. 支線は小型車両で運行(普通2種免許)

運行経費の削減と運転手不足への対応

3. 支線は公設民営(幹線は民設民営)

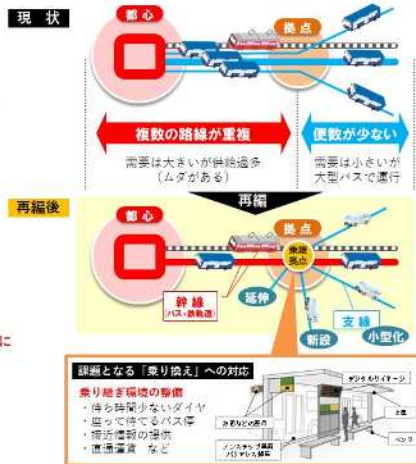
小型車両の調達や乗り継ぎ環境の整備等について、市が負担

4. 運行支援で支線を安定維持

支線の収支率は30%程度と低いため、
運行経費の最大65%まで市が支援することで、支線を持続可能に

これらの4つのポイントの組み合わせが岡山モデル

10方面・17系統の支線を創設



路線バス再生に向けた取組の方針

令和7年度は、バス路線の再編にあわせて、
①公設民営方式の支線バス導入(5路線)
②バスの乗り継ぎ環境の整備
などに取組み、いただいたご寄附を活用させていただきました。

効果

小型車両で運行する支線バス5路線の運行を開始し、公共交通が不便な地域における市民の移動手段を確保しました。また、築港新町バス停をリニューアルし、バス待ち環境が向上しました。

トータルデザインで
需要にあわせた小型車両
の導入(5路線)



乗り継ぎ環境の整備(築港新町バス停)



今後の取組

令和7年度から令和9年度にかけて、10方面でバス路線再編や乗り継ぎ環境の整備を行い、17路線の支線バス導入に取り組んでいます。